

# THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU CHARTERED 1995



2015~2016年度 No.191

## 12月 月報

那須クラブ会長 主題  
拓こう 築こう ワイズの世界

強調月間：EMC/MC

那須ワイズメンズクラブ



11月例会(那須街道赤松林植樹) 11月 7日

2015~2016年度 主題  
 国際会長：(IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)  
 「信念のあるミッション」  
 アジア地域会長：(AP) Edward K.W. Ong(シンガポール)  
 「愛をもって奉仕をしよう」  
 東日本区理事：(RD) 渡辺 隆 (甲府)  
 「原点に立って、未来へステップ」  
 北東部長：中川 典幸 (仙台)  
 「今と原点を融合して未来へ」ー楽しく改革・笑って行動ー

クラブ役員 事務局  
 会長：田村 修也  
 副会長：村田 榮  
 河野 順子  
 書記：荒井 浩元  
 会計：鈴木 保江  
 担当主事：荒井 浩元  
 ブリテン：田村・村田

11月例会データー (出席率：33%)  
 在籍者 6名  
 例会出席者 2名 メネット 2名  
 コメット 1名 ゲスト 15名  
 メイクアップ 0名

今月の聖句  
 「それゆえ、わたしの主が御自ら、わたしたちにしるしを与えられる。見よ、おとめが身ごもって男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。」

イザヤ 7:14

東京目黒クラブ 那須クラブ  
 12月 Happy Birthday  
 12/8 村野 絢子メン なし

## 巻 頭 言

村田 榮

### 「2015はみがきツアーに参加」

今年も11月22日(日)～30日(月)の旅程で、カンボジア・ラオスへの「はみがきツアー」にメン・メネットに参加してきました。今年には姫路グローバルウィズのメンバーと元メンバーで構成された。歯科医(英メン、東元メンバー)と竹居メン、三宅メン、多田元メンバーの各氏と姫路YMCAのユースリーダー(浅香、渡辺)の7名の本隊(歯ブラシ1万本)に、私たち2名は東日本区の皆様から(特に東京目黒クラブ、吉田紘子さん、那須クラブ、那須地域の皆様)よりお預かりした貴重な歯ブラシ900本を携えて関空で合流し9名での訪問でした。今年度は、歯科衛生士の参加が出来なかったため、歯科医の2名とユースリーダーは、歯科検診と一人一人のカルテづくりをされ、残りのメンバーで各教室を回り、最初にクラス担任が子供たちへのはみがきの大切さの説明とはみがきの仕方の指導を行い、その後染め出しを行った。染め出しをしながら、だんだんと子供たちの虫歯が少なくなりきれいな歯の子供たちが増えてきているように感じた。

特筆すべきことは、カンボジアに着いて最初に、空港や道路や街並みが年ごとにきれいに整備されていく様子にびっくりしました。

カンボジアの2日目には、タケオ州の知事さんへの表敬訪問を行い、20年以上続いている子供たちへのはみがき指導に対してお礼の言葉があり、タケオ州の中で山岳地帯にあって支援が遅れている地域があるのでその地域に対する支援の要請があった。来年は訪問ができるかどうか検討がされます。

ラオスでは、姫路の永井さんが参加されて10名での小学校訪問となった。現地にお住いの後藤さんご夫妻(元JAIC職員)の働きによりラオスの外務省に予定表が提出されており全てのことが予定通りに進んだ。カンボジアと違っていたのは、海外青年協力隊(JAIC)の看護師(真美さん)と現地の歯科医とで作られたパワーポイントを見ながらのはみがき指導の方法がとられた。2日目の指導の時には、郡病院の看護師4人もわたしたちの活動に参加されお手伝いをしてくださった。

また、カンボジアの通訳や日程の調整・ホテルの手配等20年以上にわたり支えてくださるチョウリーさんご家族と姫路YMCA日本語学校の卒

業生2名の働きに感謝するばかりです。ラオスの旅程と通訳として現地にお住いの松本さんご夫妻のお働きにも感謝します。

歯ブラシをもらう時の人なつこしい子供たちの笑顔は心が癒されます。いつまでもその笑顔を忘れないでほしいものです。

来年も参加できればと思いながら帰路についた。



### 11月例会(那須街道赤松林植樹例会)

日時: 11月7日(土)

場所: 日光国立公園那須街道赤松林

参加者: 田村会長、村田副会長、メネット: 田村、村田、コメット: 田村

ゲスト: アジア学院関係2名、0287会1名、ガールスカウト8名、国有林4名。

「あきのゆうひにてる山紅葉 こいもうすいもかずあるなかに 松をいろどるかえでやつたは やまのふもとのすそもよう」とうたわれているように、秋たけなわ。秋晴れの青空のもと、アカマツ林に点在するかえでをはじめこならやえのきなどの落葉広葉樹が彩を添え、那須ワイズ植樹活動10周年記念を祝ってくれました。11月最初の土曜日で、各地で文化祭や産業祭、芸術祭等各地さまざまにイベントが開催されている中、20名が参加して植樹活動を開催しました。

会長挨拶に続いて、塩那森林管理署の方からもご挨拶を頂く。次に、担当区主任から苗木の植え方の模範指導が行われました。終了後に、赤いペンキを塗って篠をさした所に、それぞれ植穴を掘り、小さなポット苗を植えて、準備した竹杭に日にと植栽者がわかるように太いサインペンで自分の名前を書いて、記念の記しと致しました。

昨年植えた隣接地では、植えては枯れてしまったため空間となったところへ、再度松の苗木を植えるなど、補植の活動も合わせて実施しました。植える苗木は約120本。すべてがポット苗なので、枯損しているものは極めて少なく、活着率もかなり良好なものでした。





終了後は、樹冠の間に広がる青空の下、ブルーシートのお座敷で、持ち寄りの弁当を広げて、ピクニックの食事しながら、多い御馳

走は廻しっこして分かち合いながら楽しみました。秋の手作りお土産は、ひと月早いひげじいさんの「サンタクロース」テーダー松のマツカサに目とひげをつけ、赤いベレー帽子をかぶっているチャームングなもの。アコーディオンに合わせてソングシートの「アンパンマンマーチ」「まっかな秋」「ぼくらはみんな生きている」などなど楽しみました。

最後は恒例のお楽しみ。おやつのお菓子を広げて、ジャンケンゲーム。リーダーと相性のよくない人は、負けっぱなし。それでも順番にお目当ての好物をゲット。来年春の植樹例会でお会いするのを楽しみにそれぞれ帰途につきました。(田村記)

## 11月役員会報告

日時：11月6日(金) 18:30~

場所：ココス西那須野乃木店

出席者：田村会長、村田副会長、田村メネット協議事項

1. 11月例会(赤松林植樹例会)について  
11月7日(土)の内容の確認
2. 12月例会(クリスマス例会)について  
12月18日(金)西那須野教会にて開催。メッセージは潘牧師に依頼する。
3. 12役員会について  
12月4日(金)午後6時30分~、ココス西那須野乃木店。
5. ブリテンの内容について  
12月号の掲載は、西那須野幼稚園、アジア学院で掲載をする。巻頭言は、村田。
6. 北東部評議会の開催について

11月28日(土)午後とちぎYMCAさくらんぼ幼稚園にて開催。

7. その他

- ・11月21日(土)から30日(月)まで、姫路グローバルクラブが中心になって行っているカンボジア・ラオスはぶらし指導のツアーに村田メン・メネットが参加する。
- ・11月28日(土)に那須地域の諸教会が一堂に『クリスマス祝会』を開催する。

## 旧西那須野(那須西原)の緑と水(32回)

田村修也

那須開墾社の創業と時を同じくして、その隣接地である1036町歩の原野を拝借して、肇耕社が開拓事業を起こしました。肇耕社は三島開墾と言われまして、当時山形県令であった三島通庸によって、創業開始されたものであります。三島通庸は、明治維新後まだ間もない時期、国内の動揺がまだ十分に収まっていない明治7年に、大久保利通の懇ろな委嘱を受けて、東北地方経営の難局を引き受けて、鶴岡酒田等の県令として赴任しました。それ以来、任地と東京との間を頻繁に行き来する中で、那須野の地を経由すること数回に及びました。

三島は、帝都にそれほど遠くない所にこのように広大な原野が開拓もされないで放置されていはいはずはない。ここに開拓民を入植させ開墾させ、産業を振興させるならば、多くの民を救済し、国家を大いに益することは絶大であると考えました。このようにして、明治13年になって、三島の念願が叶えられて、開拓の事業が始められたのでした。この年の10月には、小林熊造ほか19名を大字大夫塚に、同じく11月には島田新次他14名を大字赤田に入植させました。入植者には若干の土地を分与し、その他営農に必要な土地を貸付して開墾させました。

命じ14年春には、陸稲27町歩を蒔き付けることが出来るまでになりました。そして、その秋には収穫米を三島通庸の手を経て、明治天皇に献上され、御嘉納になりました。この時の喜びを記念するために、三島は開墾社を肇耕社と命名したと伝えられております。当時の管理者は田上貞質という人でした。

西那須野町の編纂した図書の中の、那須開墾社に関係した人々の中で、この田上貞質という人は、次のように紹介されています。「生年月日不詳。出生地不詳。那須疏水、飲用水路開削に際して、

水路委員として工事に携わり、出張係官との連絡を取った。那須開墾社の森 興平、豊浦農場倉光三郎などと活躍した三島農場の管理人である。明治31年（1898）三島家から永年の勤勉の賞として原野7町歩を贈与された。」

一方西那須野教会百年史を作成した際に、名古屋中央教会の田島正人牧師から「大草原の小さな教会」という一文が寄せられました。寄稿文には女性に手を取られた少年が、遙かに見える原野の先に建つ教会堂に向かって歩いて行く後姿のスケッチが添えてあります。田上吉也描く教会堂と題されていて、その下に「北方建築のパイオニア田上吉也は三島村村長田上貞質長男で田島弥三郎の甥、少年のころ叔母に連れられて教会に行く田上少年」とコメントが付されています。またの機会はないと思いますので、田島牧師の寄稿文を紹介致します。

「下の絵は明治40年頃の西那須野教会を90歳を過ぎた老人が思い出すままに描いたスケッチです。那須連峰を背景として野腹のまん中に建っている教会堂は実際とは少々違ってはいますが、感じは良く出ています。私などはこれから10年位後にこの日曜学校に通いました。昭和18年の春、北海道の岩見沢教会に赴任した私達一家を迎えてくれた10人程の信者の中に旧制の工業高校の生徒だったS君がいました。父を亡くした4人兄妹の長男だった彼は病身にもめげず、現在は札幌にある北方圏センターの事務所長となって国際的な仕事に専念しています。その「北方圏センター」の副所長、田上氏が描いたものが新聞にのっていたのです。S君は大変驚いてその新聞を私に送ってくれました。この絵の中に叔母というのは私たちの母悦子です。テレビで評判になっている「大草原の小さな家」、あの中の子の教会は賑やかですが、西那須野教会は私の記憶にある限りは淋しい教会でした。それでも西那須野教会と言え、このスケッチのような教会がくっきり思い出されます。

札幌郊外の『羊が丘』公園にクラーク博士の像とともに小さな教会堂が建っています。昭和2年に建築された札幌北一条教会のミニチュアです。札幌市民に親しまれた教会堂を記念するために市がミニチュアを作って公園の中に建てたのです。この絵の中の少年が設計したものです。新北一条教会も80歳を過ぎたこの少年が設計しています。大草原の小さな教会、西那須野教会の前の国道を中学生時代の私は銃を担いで行軍したものでした。級友の辻一郎君もその行軍の中に居た筈。キリス

ト教などに無縁の級友は「これ何だろう」とけげんそうに眺めて通り過ぎました。淋しい野原に立つ小さな洋風の教会堂は少年たちの目をひいたものでした」。以下次号へ

## 今後の予定

### ・12月役員会

日時：12月4日（金）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：12月例会（クリスマス例会）、1月例会等。

### ・12月例会（クリスマス例会）

日時：12月18日（金）午後6時

場所：日本基督教団西那須野教会

第1部 キャンドルサービス（潘牧師によるメッセージ、司会：村田）第2部（食事、祝会）

会費：1,000円

一品持ち寄り、カレーライス。YMCA国際協力募金に献金。

ユースリーダーの多くの参加を期待

### ・1月役員会

日時：1月8日（金）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：2月例会、3月例会等について。

### ・1月例会（新年例会）

日時：1月22日（金）午後6時～

場所：ブレッシング（西那須野）

会費：3,500円程度

## 西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園  
園長 福本光夫

聖書によると、イエス・キリストの誕生の知らせを一番早く聞いたのは、夜、羊の番をしている羊飼いでした。イエスの母マリアや父ヨセフは、支配国のローマ帝国に税金を納めるための人口調査で故郷に戻らされたのですが、羊飼いはその調査の対象外でした。ローマ帝国からは、人として認められていなかった存在です。そんな彼らにイエス誕生のうれしい知らせが、一番先に届いたのです。あたかも、イエスの生涯を暗示するかような出来事でした。イエスは30～33歳のたった3年間の公生涯(こうしょうがい)において、当時の

政治的・宗教的権威であるユダヤ教が、差別されて当然であると認めた「地の民(アムルツ)」と言われた人たちに、自ら手をさしのべて共に歩まれました。その行為は律法違反と知りつつも。

さて、幼稚園では、一番はじめのクリスマスは12月5日(土)黒羽刑務所の受刑者の方たちと共に祝います。前園長の福本治夫が黒羽刑務所の宗教教誨師(きょうかいし)をしている時に始まり、今年で27年目になります。当日は年長組の代表園児が、降誕劇を上演し、クリスマスソングを歌います。また、クリスマスメッセージを西那須野教会牧師大下正人先生からいただき、中里さんのバイオリン、藤中さんのピアノによるミニコンサートもします。そして、この行事を理解してもらう為に毎年保護者代表の方にも同行をしていただいております。今年はPTA 会長さんと年長部から2名が参加されます。保護者の皆様のご理解、ご協力感謝いたします。更生の為に努力されている受刑者のみならず、刑務所スタッフの方達にとってもよい時となることと考えます。

## アジア学院だより

### サーバントリーダーシップ 2

アジア学院 アジア農村指導者養成専門学校  
校長 荒川 朋子

12月12日はアジア学院の第43回卒業式でした。その中でサーバントリーダーシップについて話をしましたので、前回に引き続きサーバントリーダーシップについて書かせていただきます。卒業式でなぜサーバントリーダーシップを取り上げたかと言うと、今年の学生の発表の中で、アジア学院で最も強く心に残った学びはサーバントリーダーシップだと答えた学生がとても多かったからです。

前回は説明させて頂きましたが、サーバントリーダーシップとは文字通り、「人に仕える指導者」という意味で、権威や力で人々を導くのではなく、奉仕や支援を通じて周囲から信頼を得て主体的に協力してもらえらる状況を作り出すことのできる指導者です。学生たちによればサーバントリーダーシップとは「相手の話をよく聞き、一緒に考え、一緒に行動すること」、「コミュニティを本当によくしていきたいという思いで皆を引っ張り、コミュニティに奉仕する人」ということでした。多くの学生がサーバントリーダーシップを理解し、それを実践して社会を良くしていきたいと抱負を語ってくれたことは何よりも

嬉しい事でした。それこそが私たちの目指すところであるからです。

実はアジア学院の初期には Servant Leadership という言葉自体はあまり使われていないようでした。創設者の高見敏弘はアジア学院の描くリーダーのイメージを次のように述べていました。

アジア学院の描くリーダーのイメージは、自らの自由な意思で、社会の基盤である草の根の人々と共に汗を流して、命を支える食べものを生産し、それを公正に分かち合うためにいま具体的に働く人である。全ての人々、全てのものが、それぞれの持ち味を互いに生かし、その可能性、秘められた霊性をできるだけ伸ばすよう不断の努力をする、生きいきとした社会をつくるのに欠かすことのできないリーダーである。

ここにサーバントリーダーシップという言葉は一度も出てきませんが、これこそがまさに私たちの目指す非常に具体的なサーバントリーダーシップ像だと私は思います。タンザニアからの女性の学生が最後の面談でこんなことを言っていました。「私が働いている農家の人たちは土地の地力不足と技術不足で年々収量が落ちるんです。そして私たちに指導を求めて来るのですが、私はどうしてよいか分からず、化学肥料を買いなさいということくらいしか言えないのです。でも彼らは貧しくてそんなもの買えないんです！だから彼らは益々貧しくなって行って、私はとても済まない気持ちでいっぱいでした。でもアジア学院で学んだ私は今その答えを持っているんです！こんな嬉しいことはありません！」普段はおとなしい彼女が涙ながらに情熱的にそう語り、聞いていた私たちは皆喜びに満たされました。まさに草の根の人々と共に汗して命を支える食べものを生産し、いま具体的に働く人です。彼女が村に戻って村人たちに有機肥料の作り方、施肥の仕方、その他様々な方法を喜々として忙しく教え回る姿が目に見えます。こういう人材をまたひとり、困窮する世界の果ての農村に送り出すことができる。こんな喜びはありません。同様に28名の卒業生が19ヶ国の母国に戻っていきます。どうぞ彼等の将来の活動をお祈り下さい。

今年1年の皆様のご支援に感謝申し上げます。ありがとうございました。

## YMCA報告

【被災地小学生サッカー交流&ユースリーダーズアクトに参加してきました！】



11月21日（土）～22日（日）に東北学院大学泉キャンパスにてワイズメンズクラブ国際協会東日本区北東部主催、第3回被災地小学生サッカー交流大会&北東部ユースリーダーズアクトが開催されました。そこに那須YMCAで活躍している3名のユースボランティアリーダーが参加しました。宮城県の被災地で活動しているサッカースポーツ少年団3チームを招待し、子どもたちは他チームの選手やYMCAユースリーダーと共に過ごし、様々な体験をしながらサッカーを楽しむというプログラムです。被災地の子どもたちを応援する企画ではありますが、「被災地の子どもたちの現状を知る研修」、「ワイズメンとリーダー共同の支援活動」も目的として企画されました。今回参加したリーダーが、今回の経験が糧となり、YMCAでのボランティア活動が実り多きものとなりますように願っております。この度は貴重な機会を頂きどうもありがとうございます。



#### 【とちぎYMCA・那須YMCAの12月の予定】

- ・12/5（土） YMCAイングリッシュ那須クリスマスパーティー ※19名の子どもたちが参加予定
- ・12/12（土）～14（月） 北関東YMCAスキー実技トレーニング@丸沼高原スキー場  
※荒井及び那須YMCAリーダー3名が参加
- ・12/19（土）～23（水） 第6回日中韓YMCA平和フォーラム@中国・南京 ※塩澤総主事と荒井が出席
- ・12/19（土） サタデークラブ（クラフト体験）
- ・12/27（日）～1/7（木） ウィンタープログラム（計5プログラム）